

# 大原庁舎等整備に関する住民説明会 議事録

## ■ 開催日時

令和8年4月8日(水) 19:30~21:00

## ■ 開催場所

波照間農村集落センター

## ■ 出席者

前泊町長、小濱企画政策課長、花城企画政策課長補佐、新盛総務課長、

島仲総務課長補佐、佐事総務課主事 波照間地区住民の皆様（約13名）

---

## ■ 次第

1.開会

2.出席者紹介

3.町長あいさつ

4.大原庁舎等整備に関する説明

(1) これまでの経緯と今後の予定

(2) 基本設計概要

5.質疑・応答

6.閉会

## 議事内容

### 1. 開会

花城企画政策課長補佐より開会の挨拶

お集まりの皆様こんばんは。

本日は、大原庁舎等整備に関する住民説明会にお集まりいただきましてありがとうございます。  
ございます。

この説明会は、これまで3月22日に離島振興総合センターと各地区公民館をオンラインで結んで実施したところでございます。

その際、総合センターと町内各地区公民館を結んで開催をいたしましたが、現地での説明を求める声をいただきまして、本日このように開催させていただいております。

収穫期でお忙しい中、また夕方のお時間にお集まりいただきありがとうございます。  
す。

本日はよろしく願いいたします。

### 2. 出席者紹介

花城企画政策課課長補佐より出席者紹介

### 3. 町長あいさつ

前泊町長より挨拶

大原庁舎の整備に関する説明会は、ハイブリッドで開催しましたが、音声が聞きづらい部分もございました。

また、画面越しだと分かりづらい部分もあるため直接説明をして回っていかうということでこうして各地区を回っているところでございます。

今日は改めて説明させていただきまして、皆さまからのご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 4.大原庁舎等整備に関する説明

小濱企画政策課長より説明

- ・ これまでの経緯

2021年、令和3年7月に大原庁舎等整備基本計画策定業務に着手しております。

このときはまだ旧庁舎を解体して、プレハブでの管理業務をスタートしていた時期でございますが、その頃から大原庁舎について検討を進めていかうということで進めてきたところでございます。

続いて2022年、令和4年5月に竹富町役場の新庁舎である石垣庁舎が完成し、供用開始となっております。

その後2023年、令和5年2月に大原庁舎等整備基本計画に係る住民説明会を開催し

ております。

その際は、全地区で176名の参加をいただいております。

その中では、庁舎機能だけでなく防災拠点として整備してほしい、シェルター機能を設けてほしいといったご意見が多く出されております。

その後、2023年10月に基本計画の見直し業務に着手しております。

この見直しについては、住民意見の反映とともに、シェルター機能の導入に関する議論が高まってきたことを受けて行ったものでございます。

その中で、国としても公共施設にシェルターを設けるという事例がなく、制度や基準の整備に時間を要してきたという経緯がございます。

そうした調整を経て、令和7年に基本計画の最終案を決定しております。

4月には庁舎整備に関する民間提案の公募を開始しており、庁舎やシェルター機能をイメージしながら、民間にどんな提案ができるかを募集しました。

その後、7月に選定委員会を開いて、町内団体や有識者も交えて審査を行い、大和リースを優先交渉権者に決定しております。

8月には基本協定を結んで協議を進めましたが、国の制度や補助率などが未決定だったため、本契約は行わず協議書に基づき業務を進めていました。

そして、11月になって国の制度や補助率の概要概算が示されたことで、基本設計の契約を締結し、本格的に事業をスタートしたという流れとなります。

あわせて住民説明会を実施しており、改めて住民の皆様にご直接説明を行い、理解を深めていただくことを目的としております。

#### ・施設説明

敷地面積は約1万8000平米、世界遺産センター左側に約6500平米を庁舎として仕様する予定で進めております。

地下1階のシェルター機能について約100人が2週間滞在可能な施設として計画しております。

これは国のガイドラインに基づいた内容となっております。

内部には、スロープ、機械室、遺体安置室を設置しており、遺体安置所については、観光客の事故などで亡くなられた方の対応として、これまで駐在員の管理のもと対応していたが法的な課題があるため整備を検討しています。

その他には町長室、会議室、水回り設備、シャワー、洗濯設備、関係機関の待機スペースや相談室、エレベーター、倉庫なども配置する予定です。

有事の際にはこれらの部屋を活用して、5つの部屋で約100人規模の寝泊まりができるよう整理しております。

1階には集会施設を整備いたします。

これは離島振興総合センターのホールの後継施設として位置づけておりまして、約

460人規模の避難が可能な施設として計画しております。平時は会議や集会、企業誘致などに活用する予定です。

また災害時には避難施設として使用することを想定しております。

さらに庁舎機能につきましては、執務室や相談室の行政機能を配置し行政サービスを提供するスペースとなります。また、緊急車両の車庫なども整備予定です。

屋上部分ですが、災害時に避難できるように設計しており、外部のスロープから一気に上がることができるようになっており、約750人規模の避難が可能な設計としております。

#### ・事業費説明

総事業費は約57億9,000万円を見込んでおります。

その内訳として、シェルター機能が約7割を占めております。

財源については、国庫補助金が約78%、交付税措置が約12%、残りが町の一般財源となっております。

町の実質負担としては約5億円程度を想定しております。

また発注方式につきましては、一括発注方式を採用し、コスト削減と工期短縮を図る予定としております。

・今後のスケジュール

令和7年度 基本設計完了

令和8年度 実施設計

令和9年度 工事

令和11年9月 共用開始予定

## 5.質疑・応答

質疑	応答
<p data-bbox="240 965 480 1003"><b>設置場所について</b></p> <p data-bbox="240 1061 772 1189">・設置場所についてどのあたりになるのか。</p> <p data-bbox="240 1827 743 1955">・既存施設の跡地ということになるのか。</p>	<p data-bbox="842 1061 1110 1099">(小濱企画政策課長)</p> <p data-bbox="831 1158 1334 1384">設置場所は、現在の大原出張所である離島総合センターの北側にあたる場所です。</p> <p data-bbox="831 1442 1342 1668">この場所については、20年以上前から庁舎建設用地として位置付けられている場所になります。</p> <p data-bbox="842 1827 1110 1865">(小濱企画政策課長)</p>

	<p>既存施設とは現在の出張所として使っている離島総合センターとなるが、令和10年度で耐用年数を迎えるため、今後の活用について、職員宿舎や地域施設として使えないか検討していく。</p>
<p>一括発注について</p> <p>・大和リースを優先交渉権者として設定しているが一括発注の考え方について教えてほしい。</p> <p>・設計と工事を分けた場合と比べてどれく</p>	<p>(小濱企画政策課長)</p> <p>一括発注は、設計と施工を一体で行う方式です。</p> <p>従来のように設計と工事を分ける場合、設計後に改めて発注手続きが必要になりますが、一括で行うことで手続きが効率化されます。</p> <p>また、石垣庁舎の事例では、2億から3億円程度のコスト削減効果がありました。</p> <p>(小濱企画政策課長)</p>

<p>らい差がでるか検討はされているのか。</p>	<p>石垣庁舎では 35～36 億円規模の事業で 2～3 億円の削減がありました。</p> <p>大原庁舎については現在試算中ですが、同様の効果を見込んでいます。</p> <p>また、事業費については上限を設定し、それを超えないよう管理していきます。</p>
<p><b>事業費の上限について</b></p> <p>・物価高騰で作業員の渡航費や資材費も上がっているが、57 億円に収まるのか。</p>	<p>(小濱企画政策課長)</p> <p>57 億円を上限として設定する予定です。</p> <p>ただし、社会情勢の変化、例えば中東情勢などによる影響があった場合には、その都度協議し、必要に応じて議会に説明していきます。</p> <p>現時点では、この金額の範囲内で進める方針です。</p>

<p>・シェルターは国の補助が9割とのことですが、もっと国が負担すべきではないですか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>シェルター部分は約42億円程度でそのうち9割が国の補助となっています。</p> <p>ただ、私としては本来100%国が負担すべきものと考えています。</p> <p>そのため、今後も国に対して強く要望していきます。</p> <p>5月に上京する予定がありますので、その際にも要望する予定です。</p>
<p><b>庁舎の必要性・分散配置</b></p> <p>石垣に庁舎があるのに、大原庁舎は必要なのか。</p> <p>出張所で十分ではないか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>石垣庁舎の全部の機能をすべて移すということは、現実的ではないと思っています。また、最大限の活用をしなければならぬと思っているが、それだけでは十分ではないと思っている。</p>

	<p>災害時には石垣だけで対応できない可能性があります。</p> <p>そのため、町内にも拠点を持つ必要があります。</p> <p>大原庁舎は、防災拠点としての役割を担う施設として整備します。</p> <p>また、石垣と大原の2拠点体制で行政運営を行うことで、リスク分散を図ります。</p> <p>さらに、出張所がない地域については、今後整備を進めていく予定です。</p>
<p><b>説明が難しい</b></p> <p>・説明が難しくてよくわからない。防災シェルターとか庁舎とか何がどうなっているのか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>これまで石垣市の施設を借りて行政運営をしてきましたが、建物の老朽化や危険性もあり、町内に拠点を移すべきだという議論が進み、住民投票でも約</p>

7割が賛成し、大原への移転の動きが進んできました。

一方で石垣に新庁舎が整備されたことで大原は不要ではないかという意見もありますが、石垣と大原の2拠点で運営していく考えです。大原の出張所も老朽化しており、分散している行政機能の集約や、防災拠点としての役割も必要としています。

この事業は

- ・庁舎整備
- ・防災拠点整備
- ・シェルター整備

の3つが重なっているため、どうしても複雑になっています。

簡単に言うと、この3つを一体で進めている事業と理解していただければと思います。

	<p>また、シェルターについては当初計画にはなく、国の方針で後から加わったものです。地下構造が必要となるため基礎工事が大きくなり、費用も増加しています。この部分については本来国が負担すべきと考えており、今後も要望していきます。</p>
<p><b>職員配置について</b></p> <p>・職員の配置はどうなりますか。</p>	<p>(小濱企画政策課長)</p> <p>総務課、会計年度任用職員、まちづくり課、上下水道課、健康づくり課、福祉支援課、防災危機管理課、こども未来課など合計で10名～15名程度を想定しております。</p>
<p><b>職員住宅について</b></p> <p>・職員住宅も整備してほしい。</p>	<p>(前泊町長)</p>

	<p>職員住宅についても整備を進めていきます。波照間でも住宅整備を進めていきます。</p> <p>定住者向け住宅と合わせて検討していきたいと考えて、職員のために必要な場所には整備をしていきます。</p>
<p><b>税収</b></p> <p>・職員も石垣に住んでいる方が多いと思います。</p> <p>固定資産税や住民税は石垣市に入ると思うが町としてはなにか対策はあるのか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>基本的に税金は居住地におさめることになります。</p> <p>つまり石垣市に住んでいれば石垣市に税収が入ります。</p> <p>その代わり、その地域の行政サービスを受けるという仕組みです。</p> <p>竹富町としては、強制はできませんが、ふるさと納税の活用を職員にも促しています。</p>

	<p>任意にはなるが、そういった形で町に還元してもらう取り組みをしています。</p>
<p><b>シェルターと庁舎の一体整備</b></p> <p>・シェルターの部分は国が負担するという話だが、シェルターだけ作ればいいのではないか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>国の方針として、公共施設と一体で整備することになっています。</p> <p>その中で防災拠点として機能させるためにも、庁舎と一体で整備する必要があります。</p> <p>また、大原庁舎は石垣のような大規模庁舎ではなく、必要最小限の行政機能に絞っています。</p> <p>すべてを移すのではなく、必要なサービスだけを提供する拠点です。</p>
<p><b>庁舎と生活利便について</b></p> <p>石垣に行けば買い物もでき、病院もあり全部できる。</p>	<p>(前泊町長)</p>

<p>大原に庁舎をすることで、逆に不便になるのではないか。</p> <p>行き来も増えるし、船賃も二重にかかるようなことになるのではないか。</p>	<p>確かに石垣は生活圏として一体的に利用されているというのはそのとおりです。</p> <p>ただ一方で、行政機能をすべて石垣に依存してしまうというのは、災害時のリスクが非常に高くなります。</p> <p>石垣庁舎は海拔が低い場所にありますので、大規模災害が発生した場合には機能が停止する可能性もあります。</p> <p>そのため、町内にも行政の拠点を持つておく必要があると考えています。</p> <p>また、大原庁舎については、すべての機能を持たせるわけではなく、必要最小限の行政サービスを提供する拠点として整備する考えです。</p> <p>石垣と大原、それぞれの役割を分担しながら運用していくことになります。</p>
<p>シェルター整備のリスク</p>	

<p>シェルターを作ることで、逆にそこが標的になるとか、そういうリスクはないですか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>そういったご不安については、他の地域でも同様のご意見をいただいております。</p> <p>ただ、何も備えをしないということの方がリスクが高いと考えています。</p> <p>このシェルターは、すべての住民を収容するためのものではなく、避難が間に合わなかった方を一時的に保護するための施設です。</p> <p>基本的には広域避難、つまり島外への避難を前提としており、その補完的な位置づけとなります。</p> <p>また平時においても、台風などの自然災害時の避難施設として活用することを想定しています。</p>
<p><b>事業費と財政負担</b></p>	<p>(前泊町長)</p>

<p>町の負担が5億円程度という話でしたが、今後税金が上がるということはないのですか。</p>	<p>今回の事業については、庁舎建設基金の活用や起債を組み合わせる実施する計画です。</p> <p>そのため、直接的に住民税を引き上げるということは考えておりません。</p> <p>また、起債についても長期間で償還していく形になりますので、急激な財政負担とならないよう調整していきます。</p>
<p><b>職員の居住と地域定着</b></p> <p>職員が石垣に住んでいると、結局町の中にお金が落ちないのじゃないかと思うのですが。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>その点についても重要な課題と認識しております。</p> <p>そのため、職員住宅の整備を進めることで、できるだけ町内に居住してもらうような環境づくりを進めていきます。</p>

	<p>また、地元採用についても積極的に進めていきたいと考えております。</p>
<p><b>施設の使い方</b></p> <p>・この施設は災害の時だけ使うものなのか。</p>	<p>(小濱企画政策課長)</p> <p>いいえ、平時においても活用する予定です。</p> <p>集会施設として、会議や地域行事、企業誘致などに活用していきます。</p> <p>また、現在の総合センターの代替施設としての役割も担うことになります。</p>
<p><b>シェルターと非難の考え方</b></p> <p>・シェルターを作るという話ですが、これを作った時点で住民は守られるのか。</p>	<p>(前泊町長)</p> <p>シェルターについてまず前提として、全員を収容する施設ではありません。</p> <p>国民保護法に基づく考え方では、まず危険が予測された段階で行います。</p>

<p>・ 離島からの避難はどうなるのか。各島からここに来るのか。</p>	<p>国から県、市町村へと通知が来て、それに基づいて避難行動を取ることとなります。</p> <p>その中で、まず避難誘導を行います。消防団や職員、警察などが誘導に当たります。</p> <p>そして、最終的に、避難できなかった人、現地に残った人を一定期間守る施設がシェルターですので、全員が入って守られる施設ではありません。</p> <p>大原では約 100 人規模を想定しています。</p> <p>基本的には避難が優先という考え方がなります。</p> <p>(前泊町長)</p>
--------------------------------------	---

国民保護法に基づく避難の流れとなるが、基本的には石垣島に移動します。

各島から石垣に出てもらいます。

その後、港からバスで移動し、避難登録センターで登録を行います。

登録後、空港に移動し、飛行機で県外へ避難する流れになります。

竹富町の場合は長崎県での受け入れが想定されています。

そのため大原のシェルターに来るという流れではなく、あくまで最終的に残った人を守る施設という位置づけとなります。

このシェルターは、使われないことが一番いい施設です。

平時においても活用できるようにしたいと考えており、例えば台風時の避難

	などにも使えるようにしたいと考えて おります。
--	----------------------------

## 6.閉会

花城企画政策課長補佐より閉会の挨拶